

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	社会参加・就労支援部会
開 催 日 時	令和6年11月14日(木) 18:00~19:20
記録担当委員	荒木 浩
<p>【協議概要】</p> <p>1 障害者週間タイムスケジュール確認…委員は12月7日10時までに会場に集合</p> <p>2 部会の内容</p> <p>※ 次回以降、小金井市就労支援センターの所長さんが参加してくれることとなる旨報告</p> <p>● 小金井市の協議会で話していく「超短時間雇用の定義」の再確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20時間以下の就労（雇用）であること ・ （次に）20時間以上の一般就労に繋がっていくもの（ここまで前回の議論） <p>● 協議会での主な意見</p> <p>[東京都就労支援セミナー「超短時間雇用」に関する委員からの報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在7つの自治体で「超短時間雇用」の取組みが行なわれているが、増加傾向にある ・ もう少しお金を稼ぎたいというB型利用者の声からスタートしている（皿洗い） ・ 雇用のマッチングは重要で、「企業」の困りごとを分析し、「本人」の特性を生かせるような形を検討してきた ・ 「企業」側に仕事がある時に雇用する（期間の定め）方法をとっている ・ マッチングにあたっては、そこを差配するセンター等の存在は必要である。 ・ 各自治体によって状況は違うので、各自治体で超短時間の仕組みは考えていく必要がある <p>[主な議論]</p> <p>(対象者に関するもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週20時間の就労というハードルは高いように感じる ・ 上述のセミナーの中でも、354名の対象者の平均勤務時間は6.2時間/週と少なく、メインの対象者は10時間未満のような気がする。 ・ 市内のB型等の福祉事業所から対象者等の洗い出しができないだろうか？ <p>(市内の商工事業者の状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内には凡そ18商店会がある。また連合会などもある状況だが、実際の横のつながりは薄く、役員会機能がうまく働いていないところもある。ただ、そこに向けてアンケートをとったり、はたらきかけをすることは大切かもしれない。 <p>(仕組みに関するもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市への働きかけをしていくと同時に、当事者、商工業者、支援者などが有機的な連携をしていくことの必要性について再確認。 ・ 中でも当事者の自主性という点では、「小金井市が掲げる超短時間雇用の定義として③当事者が自主性をもって取り組む雇用」であることは超短時間雇用の定義に加えたい。 	
<p>【次回の開催日程】</p> <p>令和7年1月23日(木)18:00 前原暫定集会施設・A会議室</p>	